

南白小の未来をえがく！

令和4年12月13日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

第17号

縦割り班活動…最高学年の活躍！



分かりやすく説明しています



おにごっこを楽しむ！

コロナ禍で少なくなった人間関係は「斜めの関係」です。昭和の時代は、公園等で特に意識しなくても近所の異学年の子供と遊び、様々なことを学びました。優しい上級生、リーダーシップを発揮するリーダー的存在等が自然に発生していました。南白小では、それを補うように「縦割り班活動」を行っています。リーダーシップを発揮する6年生の活躍は、南白小の伝統です。

実技教科は、楽しい学習です【できる、できないではなく、自分なりに楽しむ教科です】

体育、音楽、図工、家庭科は、実技教科です。「知識・理解」が入ると、難しくなる時もありますが、体を動かす、音を楽しむ、色や形を自分なりに工夫するなど、楽しく活動しています。めあてに向かって、学習が進むことは、自分なりの達成感がある活動にもなります。そんな学習を紹介します。

5年音楽…「和音の心地よさを感じ、楽しみながら」

音楽は楽しい学習です。「楽譜が読める、楽器が弾ける」など、理解や技能が必要な場面もありますが、教科の本質は「音を楽しむ」教科です。まずは、リズム遊び「3時のおやつは」で始まります。「3時のおやつは…」と楽しく活動します。授業の最初に同じ活動をすることで、子供が見通しをもち安心して取り組めるようになります。次は、「赤い屋根の家」、今月の歌を歌います。「電車の窓から…」と、メロディーを楽しむ子供の姿がありました。

本時の学習の「和音の響き」の学習です。「Iの和音（ドミソ）」「IVの和音（ドファラ）」「V和音（シレソ）」「V7の和音（シレファソ）」の4和音です。キーボードで、ハ長調の和音を弾いていきます。鍵盤で複数の音を出すのが初めての子供もいます。慎重にグループで教え合いながら、和音の響きを感じていました。初めてのことは、誰でも緊張します。このドキドキが、子供を成長させます。



3時のおやつは！

班で確認しながら

6年体育…「体を動かす心地よさを感じ、楽しみながら」

「走り高跳び」の学習です。助走が「最初の2歩は大きく弾むように大股で、最後の3歩は速いリズム」で跳ぶことが大事です。合言葉のように「イチ、ニイ、イチ、ニ、サンッ」のリズムを大切にしながら、跳んでいました。体育では技能を身に付けるコツが分かることが大事です。

タブレット端末で、自分の跳び方を友達に撮影してもらい、自分の姿を客観的に観察し、「踏切を強く」など考えていました。同じグループの友達に「踏切が近いよ」、「足をしっかりあげよう」「あと、もうちょっと！」とアドバイスをもらい、励まし合いながら学習を進めています。「できる、できない」ではなく、体を動かす



リズムよく、踏み切る



自分の跳び方、どうかな

ことを楽しんでいる、体育の学習の本質を示していると感じました。

体を動かすことを楽しむ子供の姿はよいものです。